



マルキン食品株式会社（熊本県熊本市）

～納豆容器軽量化によるプラ削減と産業廃棄物の有効活用～

◆ リデュース：プラスチックの削減

プラスチックごみの削減のため、納豆容器にトップシールタイプの蓋を採用しています。通常の蓋つき容器と比べてプラスチックの使用量が少なく、ごみの削減につながっています。

トップシールタイプの蓋を使った商品は1998年に販売を開始しており、現在、3つの自社商品と5種のPB商品にトップシール容器を採用しています。



写真左：蓋つき容器
同右：トップシール容器

◆ リサイクル：産業廃棄物の有効活用

豆腐製造で発生するおからは、乳酸菌を加えて自然発酵後、サイレージ化することで、日持ちが良く、付加価値のついた飼料として「熊本県畜産農業組合連合会」に提供しています。また、サイレージ以外の生おからについても、熊本名産馬肉になる馬の飼育に活用してもらっています。

現在、新たな取組として、てん草搾りかす肥料を利用したこんにやく芋栽培にも挑戦しており、さらに、そのこんにやく芋をこんにやくに加工するといった好ましい循環を目指しています。



フレコン袋とおからサイレージ



てん草搾りかす

◆ リサイクル：規格外品の有効活用

製造時にどうしても発生してしまう規格外品は、食べられるのに商品として販売できないものについては社内で配布したり、社内食堂において昼食時に社員が自由に食べられるようにしたりと、無駄にしないようにしています。

2017年からは、商品提供の幅を広げ、フードバンクや同社の物流拠点近くにある子ども食堂にも提供しています。

また、納豆の規格外品は、熊本県山都町の「坂本牧場」にて幻の豚『梅山豚』の飼料として活用しています。



子ども食堂での提供

◆ リユース：通いコンテナの利用

同社グループ内にて使用する添付品のタレを搬送する際には、コンテナを繰り返し使用することで、段ボールケースの使用を無くしています。

また、一部のコンテナに折りたたみ式を採用することで、コンテナ返却時のスペースを削減し、より多くの空コンテナを一度に返却しています。



折り畳みコンテナ

◆ お問い合わせ先

名称：マルキン食品株式会社
住所：熊本市中央区世安町380
電話：096-325-3232
広報担当：上野誓子 氏

(参考) 九州農業の取組事例集「九州で先頭を走り続けている農業者等の活動」

URL：<http://www.maff.go.jp/kyusyu/portal/toprunner.html>

お問い合わせ先
九州農政局 企画調整室
担当者：田子森、西田
代表：096-211-9111 (内線4112)
ダイヤルイン：096-300-6011